

H200wirelessハンズオンセミナー

～筋電気刺激機器を用いた「合目的電気刺激療法」の実際 ―臨床応用と機器操作の実技体験～

講師：南 征吾 先生（兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授）

「合目的電気刺激療法」は、脳卒中により重度の片麻痺を呈した上肢に対して、神経筋電気刺激を活用しながら「意味のある目的的活動」の一部を誘導することを目的としています。このアプローチは、筋電気刺激によって筋収縮を引き出すだけでなく、その動作を作業や活動へとつなげることで、脳と身体の協調的な学習を促します。結果として、日常生活への参加や適応力の向上を図ることが期待されます。

バイオネスUser'sセミナー

①特別講演

演者：南 征吾 先生（兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 教授）

座長：小林 隆司 先生（兵庫医科大学 リハビリテーション学部 教授 学部長）

演題：「脳卒中による重度片麻痺上肢に対する
リハビリテーション戦略 ～臨床応用と展望～」

②H200wireless 症例発表

4～5症例程度発表予定です。

南 征吾 先生 プロフィール

【略歴】

南 征吾(みなみ せいご)教授は、兵庫医科大学リハビリテーション学部に所属し、リハビリテーション学の発展に寄与する実践的かつ先進的な研究に取り組んでいます。吉備国際大学大学院にて修士・博士(保健学)を取得し、その後、脳卒中後の重度上肢麻痺の回復に焦点を当てた研究を推進。ロボティクスや支援機器の臨床応用にも精力的で、科学研究費助成事業(科研費)や立石科学技術振興財団などから研究助成を受け、技術と臨床の架け橋を担っています。



セミナーに関するお問い合わせはこちら

フランスベッド株式会社 リハビリ医療器推進課

担当：坂本 仁志

HP：080-4089-7366

E-mail：sakamoto.Hitoshi@francebed.jp

